

## 芸術の意義

まず、私にとって芸術とはという個人的な観点から話を進めようと思う。芸術といっても幅広いが、共通して言えることは私の人生にスパイスを与えてくれるものであるということだ。芸術的なコンテンツに触れた時に、自分の外側から大きな衝撃を感じ、自分を内側から形成し、私になる。その功績は不可視的だが、確かに「ここ」にある。

芸術は、受け取ったそれぞれの人の中で変形し、また人によって表現されるものであると感じるため、芸術そのもので存在するのではなく、人を媒介して意味をなすものであると感じる。そこに芸術の意義を見出している。たとえ受け取った人によって表現されなかったとしても、留まっているだけだとしても十分で、必ず人の内側で大切に扱われるものになる。

## CHABUDAI の活動を見よ

人は、生まれた環境や個性など個体差があり、それぞれの人の考え、悩みなど人の内側を理解することは難しい。しかし、それを他の人に媒介するものとして芸術が意義をもつ場合がある。自分の内側にあるものを語って共有することで可視化することができ、他のものに変化させることができるという点で、芸術は素晴らしい。そのことを再認識するきっかけとなったのがこの「CHABUDAI」で行っているプロジェクトだ。このプロジェクトは、何か悩みを抱える人が自らの言葉で話し、その言葉をもとにアーティストが芸術作品を制作するというものだ。その貴重な体験や、その人しか感じられない気持ちの話を聞き、自分の生き方について考え直すきっかけとなった。出来上がった作品を見たとき、それぞれのアーティストを通ずるこのように変化するのかと衝撃を受けた。作品から再び私が新しく意味を見つけ出すことができたのを覚えている。「人から人へ」影響力を持って芸術が変化していく過程を目の当たりにして、素晴らしい繋がりをここに感じた。

## コロナ禍の芸術の立ち位置

新型コロナウィルスが全世界で問題となり、大きな影響をもたらしている。果たしてこの緊急事態に芸術は必要なのか。好影響をもたらすことができるのか。

緊急事態宣言発令による政府の要請では、床面積が千平方メートル以上の博物館・美術

「注2」ドイツニュースダイジェスト「コロナ時代のドイツは芸術・文化をどう守るか？」

[https://www.google.com/url?sa=t&rct=j&q=&src=ss&source=web&cd=&ved=2ahUKewjUs-](https://www.google.com/url?sa=t&rct=j&q=&src=ss&source=web&cd=&ved=2ahUKewjUs-zxoYzAhUlwjQKHTTYCDh8QFnofECaQM&url=http%3A%2F%2Fwww.)

[zxoYzAhUlwjQKHTTYCDh8QFnofECaQM&url=http%3A%2F%2Fwww.](https://www.google.com/url?sa=t&rct=j&q=&src=ss&source=web&cd=&ved=2ahUKewjUs-zxoYzAhUlwjQKHTTYCDh8QFnofECaQM&url=http%3A%2F%2Fwww.)

[newsdigest.de%2Fnewsde%2Ffeatures%2F10946-coronakrise-kunst-und-kultur%2F&usg=AOvVaw04ew\\_1YmM1zofshHAFDQIW](https://www.google.com/url?sa=t&rct=j&q=&src=ss&source=web&cd=&ved=2ahUKewjUs-zxoYzAhUlwjQKHTTYCDh8QFnofECaQM&url=http%3A%2F%2Fwww.) (参照: 二〇二二年五月二十二日)

## あなたにとって芸術とは

アーティストにとって芸術はどのように捉えられているのか気になった。そこで、CHABUDAIに参加しているアーティストへのインタビューを試みた。

「インタビュー内容」

- ① 芸術に触れたきっかけ
- ② 芸術活動に参加する理由
- ③ 表現者として、他の方の芸術をどのように受け取っているか
- ④ CHABUDAI へのご挨拶

(インタビュー記事は後日公開)

記事・編集

ポピュラーカルチャー学部 ポピュラーカルチャー学科 音楽専攻 西村紬

館などを含めた文化施設は二〇時までの営業短縮要請が出ている。しかし、東京都を中心に休業している文化施設もたくさんあるのが現状だ。このことは芸術が不要不急であることを示唆しているように感じる。

ドイツではフリーランサーや芸術家、個人業者への支援が目目されている。モニカ・グリュッタース文化相は「アーティストは今、生命維持に必要な不可欠な存在」と断言。[注1]

零細企業・自営業者向けの緊急支援(経費などに充てられる)を五百億ユーロ(六兆円)芸術・文化領域に適用し、百億ユーロ(一兆二千億円)を個人の生活の保護(六カ月間の生活保護審査の緩和、住宅や暖房費、児童手当の利用など)に当て、法的措置の緩和(家賃や保険料の据え置きなど)の三つ策を芸術・文化支援として行った。[注2]

元々、国がビジネスで占めている芸術の大きさが違うという点で異なるが、新型コロナウィルスによって日本における芸術の重要性が浮き彫りにされたと感じ、重く捉えている。私は芸術が人に与える良い影響力の大きさを知っているため、もっと重要視されるべき分野であると考えている。日本の国としての規制対象になっている現状だと、生きるための行為を否定されているように感じる。しかし、私の周りには芸術に触れずに生きている人が多い。世間でも大半がそうであると知る。その生活の差から、とても生きづらく感じている。そこで、一度芸術に触れる経験があれば、魅力を知ることができる可能性が出てくる。芸術の重要性を多くの人に感じてもらうためには、このような展覧会の普及が重要になってくると感じている。芸術作品を展示する展覧会は、芸術に興味がない人にとってはハードルが高く、興味を持つことも難しいのではないかと感じる。新しい展覧会の形として、人生に関する話を聞き、そこから芸術作品を制作する「CHABUDAI」は、人生に共感を持った人が芸術作品に触れるきっかけとなる可能性があると感じる。今回はアートそのものでなく、「人から人へ」「作品から作品へ」誰かのために表現される展覧会。アーティストも一方の表現だけでなく、双方のフィードバックがあるという刺激的な経験となっただろう。この展覧会には人と作品による、新鮮な素晴らしいさがある。

「注1」Newsweek 「ドイツ政府「アーティストは必要不可欠であるだけでなく、生命維持に必要なのだ」大規模支援」

[https://www.google.com/url?sa=t&rct=j&q=&src=ss&source=web&cd=&ved=2](https://www.google.com/url?sa=t&rct=j&q=&src=ss&source=web&cd=&ved=2ahUKewjUs-zxoYzAhUlwjQKHTTYCDh8QFnofECaQM&url=https%3A%2F%2Fwww.newsweekjapan.jp%2Fstories%2Fworld%2F2020%2F03%2Fpost-92928.php&usg=AOvVaw2VnRyUo1-9bBvZ8ZMbk1Y)

[ahUKewjUs-zxoYzAhUlwjQKHTTYCDh8QFnofECaQM&url=https%3A%2F%2Fwww.newsweekjapan.jp%2Fstories%2Fworld%2F2020%2F03%2Fpost-92928.](https://www.google.com/url?sa=t&rct=j&q=&src=ss&source=web&cd=&ved=2ahUKewjUs-zxoYzAhUlwjQKHTTYCDh8QFnofECaQM&url=https%3A%2F%2Fwww.newsweekjapan.jp%2Fstories%2Fworld%2F2020%2F03%2Fpost-92928.php&usg=AOvVaw2VnRyUo1-9bBvZ8ZMbk1Y)

[php&usg=AOvVaw2VnRyUo1-9bBvZ8ZMbk1Y](https://www.google.com/url?sa=t&rct=j&q=&src=ss&source=web&cd=&ved=2ahUKewjUs-zxoYzAhUlwjQKHTTYCDh8QFnofECaQM&url=https%3A%2F%2Fwww.newsweekjapan.jp%2Fstories%2Fworld%2F2020%2F03%2Fpost-92928.php&usg=AOvVaw2VnRyUo1-9bBvZ8ZMbk1Y) (参照: 二〇二二年五月二十二日)